

2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リソ-教育
 コード番号 4714 URL <https://www.riso-kyoikugroup.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 天坊 真彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長(CFO) (氏名) 久米 正明 TEL 03-5996-3701
 四半期報告書提出予定日 2024年1月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年11月30日）
（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	23,771	2.3	1,670	2.8	1,691	1.9	1,176	15.1
2023年2月期第3四半期	23,245	5.4	1,624	△21.7	1,660	△20.2	1,022	△22.2

（注）包括利益 2024年2月期第3四半期 1,239百万円（16.9%） 2023年2月期第3四半期 1,059百万円（△21.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	7.62	7.61
2023年2月期第3四半期	6.63	6.61

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第3四半期	18,173	8,125	44.1	51.93
2023年2月期	18,252	9,351	50.7	59.96

（参考）自己資本 2024年2月期第3四半期 8,015百万円 2023年2月期 9,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	0.00	0.00	0.00	16.00	16.00
2024年2月期	0.00	0.00	0.00		
2024年2月期（予想）				10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	8.0	3,000	24.9	3,000	22.8	2,060	38.0	13.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期3Q	156,209,829株	2023年2月期	156,209,829株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	1,846,170株	2023年2月期	1,845,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期3Q	154,363,799株	2023年2月期3Q	154,320,340株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項については（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

コロナ禍で抑制されていた経済活動の正常化により景気は緩やかながら持ち直しの動きが見られるものの、インフレの長期化及び欧米諸国での政策金利の引き上げ、それに伴う大幅な為替変動に加え、地政学リスクの高まりによって、世界経済の先行きに不透明感が増し、不安定な状況が継続しています。

学習塾業界におきましても、こうした経済状況や少子化、大学入試改革、GIGAスクール構想による学校へのICT化推進など、様々な教育制度改革が進められており、経営環境の変化にも迅速な対応が求められています。

こうした環境のもと、少子化を前提としたビジネスモデルである当社グループは、「すべては子どもたちの未来のために」という考え方から、高品質な「本物」の教育サービスを提供し、徹底した差別化戦略によって日本を代表するオンリーワン企業を目指すことを経営の基本方針としており、新型コロナウイルス感染症の影響に対しても、子どもたちの教育の場を守るために、可能な限りの感染防止策を講じ、安心して対面授業を受けることができる学習環境作りに注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高が学習塾事業、学校内個別指導事業、人格情操合宿教育事業で前年同期を上回ったこと、加えて経費の効率的な使用による費用削減の効果により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益についても前年同期を上回り、増収増益となりました。

今後も引き続き、費用の見直しを行うとともに、ヒューリック株式会社との資本業務提携の強化による積極的な新校展開に加えて、当社、ヒューリック株式会社およびコナミスポーツ株式会社との3社提携による事業拡充など、異業種を含めた他社との提携を推し進めることで、持続的成長と企業価値向上に努めてまいります。

以上の結果、売上高は23,771百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は1,670百万円（前年同期比2.8%増）、経常利益は1,691百万円（前年同期比1.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,176百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

当社グループの経営成績は、受験後の卒業等により生徒数に変動することから、新学期スタート時期である第1四半期連結会計期間を底とし、講習会授業を実施する第2・第4四半期連結会計期間に大きく膨らむ季節的な変動要因があるため、第2・第4四半期連結会計期間と比較して、第1・第3四半期連結会計期間の収益性が低くなる傾向にあります。

セグメント別の経営成績は、次のとおりとなります。

①TOMAS（トーマス）[学習塾事業部門]

完全1対1の進学個別指導による高品質な教育サービスを提供し、売上高は12,049百万円（前年同期比1.9%増）、内部売上を含むと12,049百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

当第3四半期連結会計期間におきましては、TOMAS勝どき校（東京都）、TOMAS自由が丘校2号館（東京都）、TOMAS御茶ノ水校（東京都）、Spec.TOMAS下北沢校（東京都）を新規開校いたしました。

②名門会 [家庭教師派遣教育事業部門]

100%プロ社会人講師による教育指導サービスの提供に加え、全国区へ事業展開を図っており、売上高は3,664百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

③伸芽会 [幼児教育事業部門]

名門幼稚園・名門小学校受験業界でトップクラスの合格実績を誇る既存事業「伸芽会」に加え、受験対応型の長時間英才託児事業「伸芽'Sクラブ（しんが〜ずくらぶ）」の2つのブランドの充実を図り、売上高は4,581百万円（前年同期比1.6%減）、内部売上を含むと4,600百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

④スクールTOMAS [学校内個別指導事業部門]

学校内個別指導塾「スクールTOMAS」の営業展開を推し進め、売上高は2,174百万円（前年同期比14.1%増）、内部売上を含むと2,175百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

⑤プラスワン教育 [人格情操合宿教育事業部門]

情操分野を育む多彩な体験学習サービスの提供を行い、売上高は1,287百万円（前年同期比11.9%増）、内部売上を含むと1,296百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

⑥その他の事業

売上高は13百万円（前年同期比20.8%増）、内部売上を含むと104百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産、無形固定資産、投資有価証券、繰延税金資産、敷金及び保証金の増加、営業未収入金の減少等により前連結会計年度末と比較して78百万円減少し、18,173百万円となりました。

負債は、未払金、契約負債、退職給付に係る負債、資産除去債務の増加、未払法人税等、賞与引当金の減少等により前連結会計年度末と比較して1,147百万円増加し、10,047百万円となりました。

純資産は、退職給付に係る調整累計額の増加、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末と比較して1,226百万円減少し、8,125百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移していることから、現時点において2023年4月10日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,308,410	7,322,727
営業未収入金	1,670,857	983,535
棚卸資産	153,019	152,168
その他	535,365	524,315
貸倒引当金	△7,490	△7,539
流動資産合計	9,660,161	8,975,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,785,962	4,179,685
減価償却累計額	△1,693,450	△1,846,859
建物及び構築物 (純額)	2,092,512	2,332,826
工具、器具及び備品	2,228,397	2,374,021
減価償却累計額	△882,061	△961,395
工具、器具及び備品 (純額)	1,346,336	1,412,625
土地	417,963	417,963
建設仮勘定	—	3,495
その他	23,541	23,541
減価償却累計額	△3,656	△6,604
その他 (純額)	19,885	16,936
有形固定資産合計	3,876,697	4,183,846
無形固定資産		
その他	244,900	288,347
無形固定資産合計	244,900	288,347
投資その他の資産		
投資有価証券	113,169	197,609
繰延税金資産	1,179,252	1,259,055
敷金及び保証金	2,881,535	2,961,248
その他	302,369	313,813
貸倒引当金	△6,072	△6,072
投資その他の資産合計	4,470,255	4,725,654
固定資産合計	8,591,853	9,197,848
資産合計	18,252,015	18,173,054

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	1,171,630	1,563,101
未払法人税等	364,127	260,723
契約負債	2,414,309	3,202,542
賞与引当金	337,356	87,436
関係会社整理損失引当金	1,296	—
資産除去債務	7,437	28,952
その他	1,070,438	1,113,026
流動負債合計	5,366,595	6,255,782
固定負債		
退職給付に係る負債	2,320,183	2,511,965
資産除去債務	1,210,185	1,276,149
繰延税金負債	3,396	4,027
固定負債合計	3,533,766	3,792,142
負債合計	8,900,361	10,047,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,890,415	2,890,415
資本剰余金	2,622,691	2,622,691
利益剰余金	4,274,941	2,973,135
自己株式	△381,226	△381,335
株主資本合計	9,406,822	8,104,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,767	26,262
為替換算調整勘定	△716	—
退職給付に係る調整累計額	△156,595	△115,387
その他の包括利益累計額合計	△151,544	△89,125
新株予約権	96,375	109,347
非支配株主持分	0	—
純資産合計	9,351,653	8,125,129
負債純資産合計	18,252,015	18,173,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	23,245,890	23,771,103
売上原価	17,020,406	17,573,799
売上総利益	6,225,484	6,197,303
販売費及び一般管理費	4,600,857	4,527,121
営業利益	1,624,626	1,670,181
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	4,176	4,698
未払配当金除斥益	4,859	2,545
助成金収入	12,116	2,357
受取損害賠償金	5,465	—
雑収入	4,208	6,765
その他	6,613	6,086
営業外収益合計	37,452	22,464
営業外費用		
支払利息	24	555
為替差損	148	33
解約違約金	888	—
その他	559	286
営業外費用合計	1,620	874
経常利益	1,660,459	1,691,771
特別利益		
固定資産売却益	571	—
関係会社整理損失引当金戻入額	—	1,096
特別利益合計	571	1,096
特別損失		
固定資産除却損	11,067	26,312
減損損失	—	16,965
移転費用等	12,386	5,147
その他	—	882
特別損失合計	23,453	49,306
税金等調整前四半期純利益	1,637,577	1,643,560
法人税等	614,842	466,737
四半期純利益	1,022,734	1,176,823
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,022,734	1,176,823

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	1,022,734	1,176,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,677	20,494
為替換算調整勘定	895	716
退職給付に係る調整額	28,346	41,207
その他の包括利益合計	36,919	62,419
四半期包括利益	1,059,654	1,239,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,059,654	1,239,242
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	家庭教師 派遣教育事業	幼児教育 事業	学校内個別 指導事業	人格情操合宿 教育事業	計				
売上高										
一時点で移転 される財又は サービス	85	—	220,684	—	609	221,379	11,059	232,438	—	232,438
一定の期間に わたり移転さ れる財又はサ ービス	11,829,518	3,692,304	4,435,810	1,905,430	1,150,387	23,013,451	—	23,013,451	—	23,013,451
顧客との契約 から生じる収 益	11,829,604	3,692,304	4,656,494	1,905,430	1,150,996	23,234,830	11,059	23,245,890	—	23,245,890
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	11,829,604	3,692,304	4,656,494	1,905,430	1,150,996	23,234,830	11,059	23,245,890	—	23,245,890
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	37	—	855	96,725	24,328	121,947	88,275	210,222	△210,222	—
計	11,829,642	3,692,304	4,657,349	2,002,156	1,175,325	23,356,777	99,335	23,456,113	△210,222	23,245,890
セグメント利 益又は損失 (△)	460,899	119,778	857,027	△8,386	7,203	1,436,521	16,630	1,453,152	171,474	1,624,626

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	家庭教師 派遣教育事業	幼児教育 事業	学校内個別 指導事業	人格情操合宿 教育事業	計				
売上高										
一時点で移転 される財又は サービス	35	—	210,358	—	443	210,837	13,360	224,198	—	224,198
一定の期間に わたり移転さ れる財又はサ ービス	12,049,558	3,664,690	4,370,648	2,174,837	1,287,170	23,546,905	—	23,546,905	—	23,546,905
顧客との契約 から生じる収 益	12,049,594	3,664,690	4,581,007	2,174,837	1,287,613	23,757,742	13,360	23,771,103	—	23,771,103
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	12,049,594	3,664,690	4,581,007	2,174,837	1,287,613	23,757,742	13,360	23,771,103	—	23,771,103
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11	—	19,610	434	9,070	29,127	90,833	119,961	△119,961	—
計	12,049,605	3,664,690	4,600,617	2,175,272	1,296,684	23,786,870	104,194	23,891,065	△119,961	23,771,103
セグメント利 益	214,931	244,635	684,380	205,814	9,361	1,359,124	12,672	1,371,796	298,385	1,670,181

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。